

教員の資質能力向上に係る特配（CT特配）活用推進事業 報告書

桐生市立相生小学校

1 研修主題

メンター研修・OJT研修を核とした教員の資質能力の向上を目指して

2 研修のねらい

メンター研修・OJT研修での学びの共有を図るとともに、参観授業による助言や情報提供などを通して、教員それぞれの自己開発を促し、資質能力の向上を図る。

3 研修の見通し

(1) メンター研修を年間行事予定に位置付けて実施し、初任者や教職経験の浅い教員をメンタリングすることで、相互に学びの共有を図りながら資質能力を高め、人材育成を図ることができるであろう。

(2) OJT研修を全職員で実施し、多面的・多角的な学びの機会にすることで、学校で教師を育て、教員と教員をつなげることを通して、学び続ける教員集団にすることができるであろう。

4 研修の内容

(1) メンター研修の実施

メンター研修とは、初任者や教職経験の浅い教員をメンタリングすることを目的としつつ、参加者が相互に人材育成を図るものである。ベテラン層の大量退職に伴い、指導力の低下が懸念される中、今こそ改めてよき同僚性とよき組織風土を高めながら、若手教員の資質能力の向上を図ることの重要性は大きい。

年間のポートフォリオを作成し、基本的には運営委員会と同時刻での実施を年間行事予定表に位置付けることにした。主な研修内容は、技やノウハウといった指導技術や子供の見方・指導の在り方等、若手教員に必要なことを取り上げたが、若手教員が学びたいことも大切にしたい。

職場外での研修、校内研修、学校内でのOJT研修とは違った、「若手の、若手による、若手のための研修」になるようコア・ティーチャーはフォロー役に徹した。



(通知表の所見の書き方)



(初任者の授業検討会)

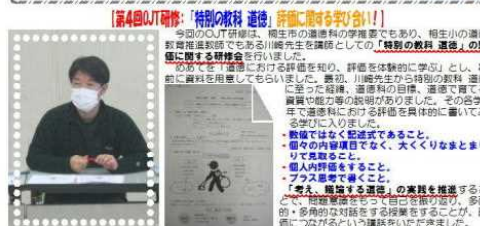
(2) OJT研修の実施

教育現場におけるOJTとは、教育の業務全般を行っていく上で、知識やスキルを随時身に付けていくものである。これは、学び続ける教員集団としては必要不可欠なこととして捉え、校内研修だけでは培えない内容を学ぶ機会とした。年間行事予定に全体研修会を月1回計画し、学期1～2回程度のOJT研修を組み入れていくこととした。

このOJT研修を通して「学校で教員を育てること」と、「教員と教員をつなげること」を念頭に置き、教員の資質能力の向上を目指すというねらいに沿うように、事前に講師との連携を図るように努めた。さらに、OJT研修を含む本推進事業に係る研究が、校内研修との両輪になるよう、管理職・研修主任との連携を図った。

(実施したOJT研修)

回数	研修内容	講師や資料
第1回	「食物アレルギー緊急対応」	養護教諭
第2回	「素敵な読書感想画」	図工主任
第3回	「3B体操」	3B体操協会
第4回	「特別の教科道徳の評価」	道徳教育推進教師
第5回	「教育会桐生大会」	連合教育会研究大会
第6回	「外国語活動の指導法」	EAT教諭



(メンター・OJT通信「チーム相生より」)

(3) 参観授業の実施

参観授業については、全教員に学期2回程度を計画した。週案を活用し、2週間前には参観する旨を伝え、事前に連絡して調整を図るようにした。

参観した授業実践は全て記録に残し、指導・助言を加えて作成したコア情報誌を、全職員に紙媒体として配布した。実際に授業を参観できない教員でも、実践の様子からそれぞれの取組を把握でき、積極的に学びを取り入れることで教員の資質向上が図れると考えた。また、各教員の授業実践等をまとめたコア情報誌や写真集は校内パソコンに保存し、いつでもどの教員も見ることができ、活用できるようにした。

(4) 情報提供の実施

群馬県教育委員会の「平成30年度 学校教育の指針」にある“知識・技能を活用する力を伸ばすための取組の充実”“一人一人の教育的ニーズに応じた取組の充実”の具現化を図るために、校外での先進的な取組を参観し、コア情報誌に載せて発信することで、学びの共有になると考えた。幼小連携（相生幼稚園）、小小連携（天沼小学校）、小中連携（相生中学校）での参観及び初任者研修における異校種体験研修など、その他多くの情報を収集して学びの共有化を図った。

さらに「はばたく群馬の指導プランⅡの作成に係る授業実践」3校、「はばたく群馬の指導プラン推進校公開授業」2校の参観、「文部科学省・群馬県教育委員会委託事業道徳教育研究指定校研究発表会」2校、「群馬大学教育学部附属中学校での文科省教科調査官の講演会」への参加等、先進校の取組を視察し、本校での研修で参考になることや取り入れたいことなどを収集して、コア情報誌に載せ、全職員への情報提供を行った。

5 成果と課題

(1) 成果

- メンター研修を行ったことにより、教員として学ばなければならないことや学びたいことの共有化を図ることができた。主体的かつ協働的な人間関係の中で、人材育成につなげることができ、一定の成果を得ることができた。
- OJT研修を行ったことにより、教師集団の一員であることの自覚が一層強化できた。また、多面的・多角的な学びの機会が得られ、生涯を通じて学ぶ姿勢と教師力・組織力を高める姿勢を身に付けることができた。
- 参観授業を意図的・計画的・継続的に行ったことで、授業者の参観されることへの抵抗感がなくなり、授業者とコア・ティチャーとのコミュニケーションが生まれた。また、それぞれの授業者への専門性やよさの賞賛と指導・助言ができた。
- 学校評価アンケート結果において、教職員からは、授業改善に生かせる実践的研修になったということが、また児童からは授業が分かるということが成果として多く挙げられ、教員の指導力の向上と児童の学習理解の向上につながったと考えられる。

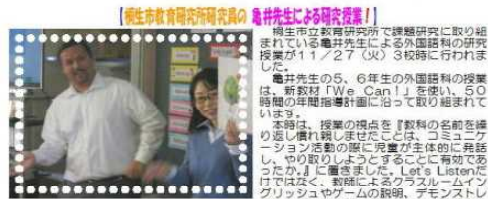
(2) 課題

- 喫緊の課題や今日的課題をしっかりと踏まえ、教員が自分の力になったと思えるような内容とテーマを取り上げていきたい。そして、教員に有効な指導・助言ができるコア・ティーチャー自身の指導力を高める研究及び教員のモチベーションを上げられるための方策を確保・検討していきたい。

6 まとめ

各校でメンター研修やOJT研修を行うことは、様々な教育課題の解決に向けて、効果的・効果的・組織的に取り組んでいくために、ますます重要視されてきている。そうした研修の積み重ねが、学び続ける教員集団を育み、教員の資質能力の向上へとつながり、子どもたちに「たくましく生きる力をはぐくむ」ことができると考える。このコア・ティーチャーの取組を多くの学校に広めていくには、今年度実施した様々な内容の精選を図る必要がある。また、校内研修の資質向上研修に位置づけながら計画的に実施し、教員が有用感をもてる研修に取り組んでいくことが大切であると考える。

コア情報誌 The next one (165, 5)
H30.11.28 CTshino



【先生教育研究研究会】亀井先生による研究授業！
【先生教育研究研究会】亀井先生による研究授業！
【先生教育研究研究会】亀井先生による研究授業！

【Today's Goal】は！わ！
【Today's Goal】は！わ！
【Today's Goal】は！わ！



(参観授業をまとめたコア情報誌)

コア情報誌 The next one (160, 5)
H30.11.20 CTshino



(情報提供をまとめたコア情報誌)

コア情報誌 The next one (160, 5)
H30.11.20 CTshino